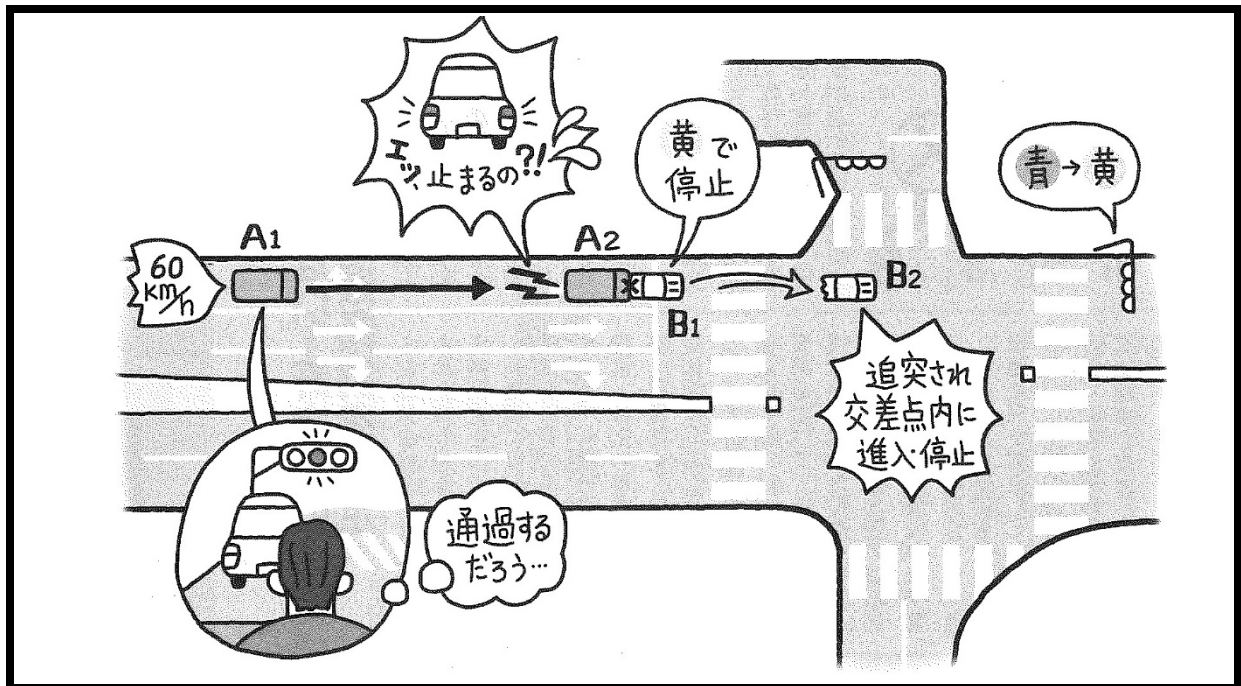


■事故の概況



事故類型・追突事故

発生日時：平日 午後

当事者A：普通貨物車 30歳代 男性

当事者B：軽乗用車 30歳代 女性

■ 事故の概要

Aは片側2車線国道の第1車線を前走車Bに追従しながら、その後方約15mを時速約60kmで進行中、前方の交差点信号が青から黄色になったのを認めました。AはB車がそのまま交差点を通過するものと判断し、減速しないまま走行したところ、B車がブレーキをかけて停止しようとしたので、慌てて急ブレーキをかけましたが間に合わず、衝突してしまいました。

追突されたBは交差点の信号が青から黄色になったのを見て、いつもと同じように30～40m手前からブレーキをかけて停車しようとしたただけでした。

■ 事故から学ぶ

Aは時速約60kmで走行していたのですから、前車との安全な車間距離はおおよそ30mから45m必要といわれています。車間距離15mでは前車の急ブレーキに対抗して安全に停止できる間隔ではありませんでした。

さらに他車も同様に行動するとの勝手な思い込みにより、減速をしなかったことで追突事故を起こしてしまいました。

自分のペースだけで加速・減速/停止するのではなく、常に周りの車両や交通を意識した運転が必要です。